丸亀市
MARUGAME CITY

議会だより

No.77
発行日　2019年（令和元年）8月1日
発　行　丸亀市議会
編　集　広報広聴委員会
TEL（24）8828
市ホームページ
http://www.city.marugame.lg.jp/

香川県立飯山高等学校
夏到来！ ひまわり迷路

6月定例会
6月3日～21日

主な内容

●特集　意見交換会…… 2
●6月定例会・議案の内容…… 4
●質疑・請願・意見書…… 5
●一般質問…… 6
●委員会審査 ……14
●特別委員会 ……16
●研修報告 ……17
●永年勤続表彰 ……18
●丸亀城復旧復興特別委員会 ……19
●こちら編集室・編集後記 ……20

議会だよりは資源保護のため、
再生紙を使用しています。

1年　脇谷涼子さんが描いてくれた
校内掲示用ポスター

みんなの意見

議会に興味を持ってもらうには、どうすればいい?

議員が何をしているのか、
市民が家にいても分かるように、
定期的に広報車で走る!

ツイッターを利用する！

議員が自分たちの年齢を
踏まえ、時代の流れや
今のニーズを意識する

それぞれの議員が何を
したいのか、何をしてきたのかを
明らかにする!

選挙公報のようなものを
学校などに掲示する!

投票率を上げるには、どうすればいい?

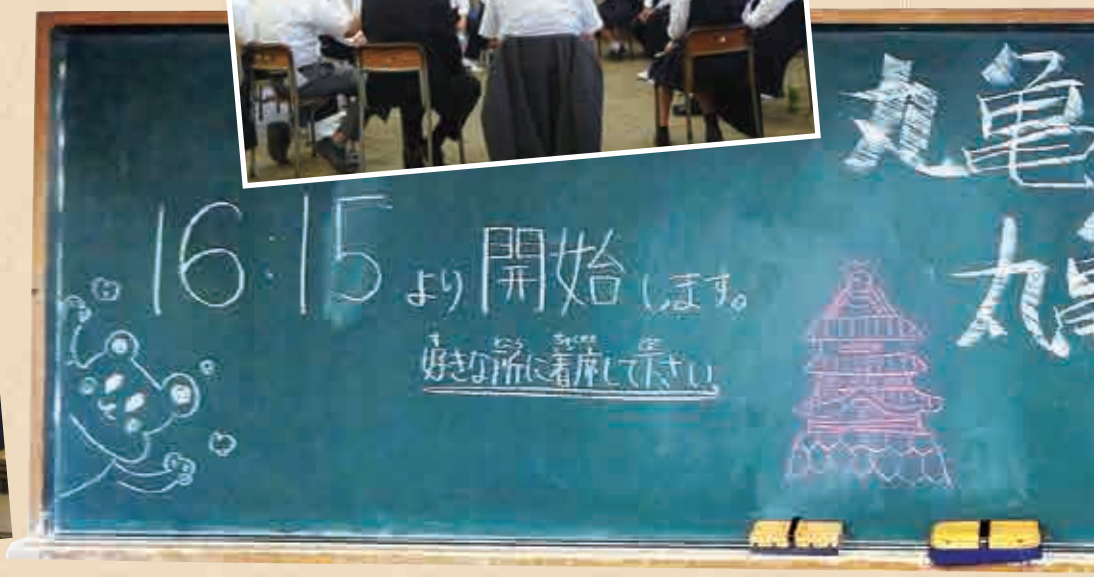
幼稚園、小学校の頃から
模擬投票などで「選挙」と
いうものを知ってもらう!

投票所のイメージが暗い。
初めての投票となると、
なおさら緊張して入りづらい

若者に人気の
タピオカドリンクを配る！

選挙のことを
やさしく描いた絵本を作る！

子供が親の投票に簡単に
ついて行けるようにして、
選挙を「あたりまえ」にする!



高校生との意見交換会

５月24日、県立丸亀高校生徒会を中心とした有志14名にお招きいただき、議員が学校へとお邪魔しました。

内容は「参政権あるのに議会のこと何も知らねえじゃん」

18歳になり（または間もなく18歳を迎えるにあたり）、メディアを通じては目にする政治や選挙、議員のことを「さてどれだけ自分たちは知っているのだろう」と考えた生徒さんたち。まずは一番近くにいる市議会議員の話を聞こうと声をかけていただきました。

はじめはゲーム感覚の「指名制自己紹介」。

自己紹介を終えた人に指名されると、すぐさま続かなければいけません。普段喋り慣れている議員たちに引けをとらない勢いで、ここに来た理由やニックネームなど思い思いの自己紹介が繰り広げられました。

その後は「家族で政治の話をすることはある？」「議員を続ける上で大切なことは？」など、それぞれの立場で聞いてみたいこと、伝えたいことを話し合い、議員にとっても刺激のある有意義な時間を過ごさせていただきました。

今どきの丸高生は、自分と家族と日本の将来をしっかりと見据えた、キラキラした高校生たちでした。

6月定例会

6月3日～21日（20日間）

●3日（初日）
・議案の提案理由説明
（議案第38号～47号）
・公平委員会委員選任の同意
・監査委員（議員選出）選任の同意

●5日
・議案質疑
・議案の委員会付託

●6～7日
・委員会審査
（詳細は14～15ページ）

●13日～14日、17日～18日
・一般質問

●21日（最終日）
・表彰状伝達
・委員長報告
・議案の討論・採決
・意見書案第1号
・香川県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙
・議員派遣第2号

議案の内容

6月定例会の議案等はすべて全会一致で原案を可決しました。

▼議案第38号　一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ1億9201万8000円を追加し、予算総額を506億9201万8000円とする。

主な内容は、離島情報通信基盤整備事業における建設工事関連委託料1137万4000円及び工事費1億8862万6000円を措置し、当初補助金として交付予定であった1億円を減額するほか、新たな防災重点ため池の基準見直しに伴う浸水想定区域図の作成業務委託料2840万円の計上など。

▼議案第39号　介護保険特別会計補正予算（第1号）

国の低所得者への介護保険料軽減強化に伴い、介護保険料収入を4931万8000円減額するとともに、同額を一般会計繰入金で措置する。

▼議案第40号　行政不服審査法施行条例の一部改正について

工業標準化法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第41号　市税条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税の非課税措置の拡充など所要の改正を行う。

▼議案第42号　災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正により、償還方法の追加など所要の改正を行う。

▼議案第43号　介護保険条例の一部改正について

介護保険法施行令の一部改正により低所得者に対する介護保険料の軽減措置が拡大されたことに伴い、所要の改正を行う。

▼議案第44号　火災予防条例の一部改正について

住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、住宅用防災警報機器をつけないことができる場合を追加し、所要の改正を行う。

▼議案第45号　委託協定の締結（城北ポンプ場長寿命化工事）

城北ポンプ場長寿命化工事の実施にあたり、日本下水道事業団を相手方として仮協定を締結したため、議会の議決を求める。

▼議案第46号　総合整備計画の策定について（香川県丸亀市本島町辺地）

本島町辺地の整備に関する総合整備計画の策定について、議会の議決を求める。

▼議案第47号　総合整備計画の策定について（香川県丸亀市広島町辺地）

広島町辺地の整備に関する総合整備計画の策定について、議会の議決を求める。

▼議案第48号　公平委員会委員選任の同意について

公平委員会委員の任期満了に伴い、引き続き現委員を選任することについて、議会の議決を求める。

▼議案第49号　監査委員（議員選出）選任の同意について

議員選出の監査委員の選任に議会の同意を求める。

▼意見書案第1号

▼議員派遣第2号

質疑

6月5日、議案第38号「令和元年度丸亀市一般会計補正予算（第1号）」について、質疑を行いました。

中谷真裕美

①備讃諸島日本遺産推進事業費について②離島情報通信基盤整備事業費について③農村地域防災減災事業費について

Q 中谷議員　①日本遺産の多くは教育委員会文化財課または企画政策課が担当している。本市は市民活動推進課であるが、これはどのような意図か。②今回作成予定の浸水想定区域図をもとにした防災重点ため池の再選定が、今後どのように市民の命や財産を守るため池防災対策につながるのか。

A 生活環境部長　今回の取り組みは、全国的にも数少ない島と島を結ぶストーリーが基本となり、島民の生活はもとより、今後の島の発展に大きく影響するものであることから、本市では離島振興を統括的に所管する市民活動推進課が担当部局となり、文化財や産業観光部局とも協議しながら進めている。

A 産業文化部長　新たなハザードマップを迅速な避難行動につなげること、また国の重点的な予算配分がなされることにより、ため池施設の補強対策の前倒しが可能となることなどが考えられる。

請願審査結果

請願第2号　国に対し「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書」の提出を求める請願書

年金者組合丸亀支部
支部長　高木国廣

●請願の趣旨

加齢性難聴者の補聴器購入に伴う負担が大きい現状を踏まえ、公的補助制度創設を国に求める。

討論

《賛成討論》　中谷真裕美

理由　加齢性難聴は生活の質を落とす大きな原因となるが、それを補う補聴器の購入は高齢者にとって大きな負担であるため、国による公的補助制度創設を求める請願に賛成する。

請願結果　**採択**

意見書

6月定例会にて可決された左記の意見書について、関係機関に提出しました。

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書

加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因になる。

また、最近では鬱や認知症の危険因子になることも指摘されている。加齢性難聴によりコミュニケーションが減り、会話することで脳に入ってくる情報が少なくなることが脳の機能低下を招き、鬱や認知症につながるのではないかと考えられている。

我が国の難聴者率は、欧米諸国と大差はないが、補聴器使用率は欧米諸国と比べて低く、国内での補聴器の普及が求められる。

しかし、補聴器の価格は片耳当たり概ね3万円～20万円であり、保険適用ではないため全額自費となる。身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者である高度・重度難聴の場合は、補装具費支給制度により1割負担、中等度以下の場合は購入後に医療費控除を受けられるものの、その対象者は限られており、約9割は自費で購入していることから、特に低所得の高齢者に対する配慮が必要である。

欧米では、補聴器購入に対し公的補助制度があり、国内でも、一部の自治体で高齢者の補聴器購入に対し補助を行っている。

補聴器の更なる普及で高齢になっても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考える。

よって、国におかれては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月21日

丸亀市議会

内閣総理大臣　安倍　晋三　殿
財務大臣　麻生　太郎　殿
厚生労働大臣　根本　匠　殿

一般質問
13人の議員が市の考えを問う

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

横田　隼人
①道路整備②職員定員管理計画

香川　勝
①丸亀市の保育行政②学校図書館③ヘルプマーク

横川　重行
①待機児童解消**②滞納処理など**③交通事故・事件防止

川田　匡文
①「ゾーン30」を取り入れ歩行者、自転車の安全通行確保②防災対策

国方　功夫
①お城の復旧復興問題②低入札価格の対策と今後の在り方**③子供にやさしい丸亀を目指して～第3子・4子以降の手厚い政策はできないか～**

真鍋　順穂
①農業用ため池の管理保全法成立後のため池安全管理の強化策②飯野山登山口の公衆便所の水洗化③日本遺産認定後の本島・広島を始めとする島しょ部の活性化（振興・整備）

加藤　正員
①快天山古墳の整備②ボートレース事業③畦田キャンプ場の駐車場確保

福部　正人
①公文書館の設置等②市民サービスの向上に向けて③学校給食だより・献立表への広告掲載④スクールロイヤー制度の導入⑤**認知症施策の充実**⑥高齢者の電車・バス運賃半額制度の導入

小橋　清信
①社会教育行政のあり方と機構改革②地域コミュニティセンターの運営管理

大西　浩
①住みよい丸亀市の若者支援②**自治会加入率向上に向けた対策**③公共サービスの民間活力④会計年度任用職員制度

中谷真裕美
①幼児教育・保育の無償化②地域公共交通網形成計画の策定を最大限にいかすために

神田　泰孝
①18歳選挙に伴う学生向けの啓発②香川丸亀国際ハーフマラソンのボランティア③**丸亀城石垣修復・復興の工事現場の見学**④石垣の石の有効活用⑤バッジ型基金の取り扱い

竹田　英司
①児童虐待対策②プログラミング教育

議会に関する意見・感想を募集します。

【連絡先】
丸亀市議会事務局
TEL 24-8828
丸亀市大手町2-3-1

メールアドレス
gikai@city.marugame.lg.jp

次回の定例会は９月上旬に開会予定です。

議会を見に来ませんか

本市議会では、定例会が３月、６月、９月、12月の年４回開催され、本会議は通常午前10時に開会します。

会議の当日、どなたでも傍聴できます。

市の道路工事 完成の見通しは

横田隼人議員

Q 市道丸亀駅福島線・郡家東西2号線・西土器南北線・原田金倉線など、市街地活性化のため、また地域住民の生活のための主要な路線にもかかわらずなかなか進まない道路工事について、今後の見通しは。

また、国からの交付金が要望額に満たなくても、市の余剰金を投入するなど前向きに取り組むべきと考えるが、市の見解は。

郡家東西2号線

A **都市整備部長**　市道丸亀駅福島線は令和4年度、郡家東西2号線は予定より1年遅れて令和6年度、西土器南北線は3年遅れて令和2年度、原田金倉線は5年遅れの令和3年度に完成を予定している。

また交付金配分額の不足部分については、市の財政状況などを考慮すると一般財源による補填は難しいと思われるが、道路改良の緊急度や優先制を説明の上、事業実施に最低限必要な予算の確保に向け、財政当局と協議したい。

QRコードの表示について

これはバーコードの一種で〈QRコード〉と呼ばれ、ウェブサイトやメールのアドレスを配布する際によく使われます。

バーコードリーダー対応のスマートフォンなどでこのQRコードを撮影すると、簡単な操作で質問する議員の姿を動画でご覧いただくことができます。

今号から各議員の質問欄に、下記のような画像を表示しています。

◆使い方◆

ご利用の機種によって異なりますが、おおむね以下のとおりです。

詳しい使用方法は、ご利用のスマートフォンの取扱説明書などをご確認ください。

1．スマートフォンでQRコードを読み取ります。
　バーコードに対応しているスマートフォン話でバーコードリーダーを起動し、QRコードを撮影します。

2．URLや情報が表示されます。
　表示されたアドレスをクリックすると、議員の質問を動画で見ることができます。

スマホで議会を見てみよう！

本会議のインターネット中継、録画配信をスマートフォンやタブレット端末からも見ることができます。

市ホームページ「**丸亀市議会**」から「**インターネット中継（外部リンク）**」をお開きください。

綾歌地域での0歳児保育実現を

香川　勝 議員

Q

県内の待機児童数は182人、そのうち本市は101人で県内最多と発表された。待機児童解消のためにどのような施策を講じるのか。持続可能な施策を示していただきたい。また、綾歌地区の0歳児定員は0人。地元での保育が叶わないだけでなく、近隣地域の子ども達が第1希望とする枠を奪ってしまっているのではないか。綾歌地域でも0歳児保育が提供されるよう改善策を。

A

こども未来部長　本市における待機児童の発生要因は主に保育士不足によるものと考えられるため、就職準備金貸付制度や保育士修学資金貸付制度の返還免除、人材バンクの開設、また私立園の定員拡大や人件費に対する補助金の交付など、保育士確保に努めてまいりたい。また、綾歌地区だけでなく、公立・私立の役割分担により、ゼロ歳児保育のための施設整備を行っていないことなどから、公立保育所では特別の事情がある場合を除き、0歳児の受入れを見合わせていることをご理解いただきたい。

待機児童解消のために、持続可能な方策を

債権回収や滞納整理に新たな試みを

横川重行議員

Q

税や税外債権の滞納繰越額や不納欠損状況は。また、債権の回収や滞納整理において、業務をよく知る退職者の活用や収納専門課の設置など新しい試みを。滞納対策週間や同月間を設け、集中的に訪問を行うなど、これまでと違ったアクションを起こしてはどうか。

A

総務部長　平成29年度決算における滞納繰越累計額は、市税が約9億9900万円、税外債権が約2億6100万円。不納欠損額は、市税が約9800万円、税外債権が約2800円。収納率は着実に向上している。

業務に精通した退職者の登用は、担当職員のスキルアップや債権回収の取組みに有効であると考えており、職員課など関係各課と検討してまいりたい。また、財務課においても職員に対するヒアリングや研修等を行い、適切な債権管理の必要性を意識づけするとともに、新たな徴収強化に向けた取り組みを提案してまいりたい。

納税に困ったときは、まず相談を

「ゾーン30」を取り入れ安心安全なまちに

川田匡文議員

Q 本市のある交差点が「魔の交差点」としてテレビ各局で取り上げられた。信号機のない、見通しの悪い交差点であるにもかかわらず、車も自転車も一旦停止をしない。今こそ市がリーダーシップを持ち、指定区域内での速度規制を行うとともに、他の安全対策を組み合わせることができる「ゾーン30」を取り入れるべきと考えるが、市の見識は。

A 市長 市内には報道にあった交差点のみならず、交通事故の発生しやすい箇所が幾つかある。今後とも関係機関と連携のもとで、地域の実情に応じた効果的な交通安全対策を講じるとともに、市民に向けても交通ルールの遵守やマナーの向上につながる施策を進めてまいりたい。

A 生活環境部長 ゾーン30の設定には交通量や周辺の道路事情などの要件があり、住民協議や道路管理者との協議、県公安委員会の指定が必要となる。警察とも協議の上、検討したい。

ゾーン30の路面標示（一例）

子供に優しい丸亀を目指して

国方功夫議員

Q 子供を育てるのは容易なことではない。まして3人目、4人目となれば、その苦労は計り知れない。そこで、丸亀の将来を担ってくれる子供たちのために「丸亀は違うぞ」と誇れる手厚い政策を打ち出せないか。

A 市長 子供たちを健全に育成するための支援の充実は、最重要課題の一つと認識している。中でも、多子世帯に特有の経済的、精神的な負担の軽減につながる支援の充実は、大きな課題であると考える。

県は、3人以上の子供を持つ子育て家庭が県内の店舗や施設割引など様々な特典を受けられる「さんさんパスポート」を発行しており、そのほかにも独自で出産祝い金事業などに取り組んでいる市町もある。

今後はこのような県や他市町の取り組みなども参考にしながら、様々な角度から多子世帯に対する支援を人口減少対策の主要な施策の一つとして、前向きに検討してまいりたい。

丸亀の未来を担う子供たちのために

農業用ため池のあらたな安全管理強化策

Q

真鍋順穂議員

農業用ため池の管理及び保全に関する法律案の採決にあたり、参議院農林水産委員会ではため池の適正管理が行えるよう、資金面、技術面からの援助を実施することなどを付帯決議に示した。この内容について、具体策と本市の補助制度見直しは。

A

産業文化部長　国のガイドラインでは、監視カメラや水位計など管理施設の整備のほか、監視・管理のための研修などが示されている。また、土地改良区や土地改良事業団体連合会の協力を得ながら、ため池の適正な管理に対する支援体制の整備や防災対策などの点検、工事計画策定の指導などに当たっていくことが示されている。

また、本市補助制度の見直しとしては、全国的に自然災害が頻発し、ため池についても通常の維持管理に加えたさらなる防災面の強化が求められているため、制度改正や補助率のかさ上げなどを要望し、適正なため池の管理が継続的に行えるよう努力する。

安全安心なため池に

快天山古墳の保存活用計画とは

Q

加藤正員議員

国の指定史跡である快天山古墳。丸亀市史跡快天山古墳保存整備委員会で保存活用計画を検討中と聞くが、その内容と発掘調査の目的・概要について示していただきたい。

また、地元への説明や「快天山古墳を守る会」「NPOあやうた」との連携について市の見解は。

A

教育部長　計画は、今年秋までに策定できるよう進めている。計画されている発掘調査は、石棺及び埋葬施設3基や、前方部西面、前方部前端部分の墳丘形態、構造の確認調査、近世墓の調査であり、中長期的な観点での調査研究が必要とされることから、文化庁が示す指針に基づき10年を見込んでいる。

地元関係団体は現地を熟知されており、保存管理を行う上でかかせない存在。今後は発掘調査の現地説明会を開催し、調査研究結果など古墳に関する情報の発信に努め、今まで以上に連携を強めてまいりたい。

快天山古墳

認知症への取り組み 普及啓発を

福部正人議員

Q 本市では、認知症が疑われる方に医師などが初期の支援を行う認知症初期集中支援事業を行っているが、市民への周知があまり進んでいない。もっと普及啓発に取り組んではどうか。

また、認知症サポーターの方の店舗などに貼るステッカーを配付し、認知症サポーターの活動支援に取り組んではどうか。

A **市長**　認知症が疑われる人に対し、専門医師や保健師などを構成員とした認知症初期集中支援チームによる初期支援を行っている。認知症の心配がある人は、まずは相談窓口である地域包括支援センターへ気軽に相談していただきたい。

今後、広報やホームページ、出前講座などを活用し、この支援事業の普及啓発に取り組みたい。

認知症サポーターの活動支援として、サポーターであることを証明するオレンジリングを配付しており、身に着けることで安心の目印になると考えている。ステッカーに関しては、検討したい。

認知症サポーターの証明　オレンジリング

社会教育行政 所管のあり方は

小橋清信議員

Q 本市では家庭教育や婦人教育などの社会教育、スポーツ行政、文化行政を市長部局が所管しているが、それらは学校教育との連携が不可欠である。以前のように教育委員会が所管するべきではないのか。

A **市長**　平成23年4月の組織改正において社会教育部門、文化・スポーツ部門を市長部局に移管した。これにより、地域や産業観光部門、健康増進分野と一体となった取り組みを進めることができ、地域の人づくりや活性化につなげられている。

一方で、社会教育や生涯学習と学校教育が連携すること、教育委員会が主体的に取り組むことは大切であると認識しており、教育委員会の各種会議に市長部局の担当課が出席し、より緊密に連携しながら事業を推進している。

今後、新庁舎に向けた機構改革の際には、市民ニーズや国、県の施策の方向性などを総合的に考えながら所管のあり方を検討したい。

生涯、学習！

パワハラ被害者への支援策は

大西　浩 議員

Q ①劣悪な労働環境やパワハラなどに苦しみ、働くことが困難になった若者、ひきこもりとなった若者に対する支援の考えは②近年、自治会加入率が低下している。自治会に関するアンケート調査の結果から見える課題とそれに対する施策を伺う。

無理をしていませんか

A **健康福祉部長**　①働くことが困難になった人が相談しやすいように各種相談窓口を設置している。

また、市内にはＮＰＯ法人による若者の就労支援に関する窓口があり、多様な支援を提供している。

引き続き関係機関と連携しながらサポート体制の拡充に努めたい。

A **生活環境部長**　②平成29年度に実施したアンケートでは、活動の維持が精一杯で加入促進を図る余裕がない状況が伺えた。それを踏まえ、自治会加入推進員による未加入世帯への働きかけや、今年度より設ける自治会活動を応援する補助制度の活用を促すなど、引き続き加入促進に有効な取り組みを検討したい。

保育無償化に伴う課題と保育士確保の推進を

中谷真裕美議員

Q 消費税増税になれば保育の無償化となる。無償化自体は歓迎すべきことだが、恩恵が高所得者に偏ることや待機児童が解消していないことなど課題は多い。そこで、無償化に伴う給食費実費徴収で反対に負担が増える家庭が出ないように市としての対応を求める。また、無償化により不要となる財源はかなり大きい。この財源で保育士確保のための思い切った給料上乗せを行い、早期に待機児童解消を図ってほしい。

喫緊の課題となっている保育士の確保

A **こども未来部長**　無償化に伴い実費徴収となる副食費が現在の保育料を上回る見込みの世帯は１３５件。負担が増大しないように、差額を市として補助・減免するよう考えている。また、無償化により不要となる新たな財源は、国の方針も踏まえ、子育て支援に活用すべきと考えている。保育士確保は本市の最重要課題であり、基本的に保育士の処遇改善に使用したい。私立園保育士の賃金上乗せ補助の増額など、保育士の確保策を検討したい。

今が仕掛け時 石垣復旧工事

神田泰孝議員

Q 崩落した丸亀城石垣の修復工事現場を直接見ていただくことは、市民の未来へ対する思いを育み、市外の方に丸亀城を好きになってもらう仕掛けになる。安全性などを考えると常時見てもらうことは難しいと思うので、期間や条件を定めて工事現場の見学会を開催してはどうか。

石垣崩落現場

A **市長**　石垣修復工事は石垣の内部をじかに見ることができ、丸亀城に対する興味と愛着を深め、歴史を再認識できる絶好の機会と考えている。そこで、工事の進捗状況にあわせ、少なくとも年2回は100名程度の参加者を募り、現場見学会や、親子で参加できる石引きや石割体験などの体験イベントを開催したいと考えている。

今後も現場見学会や体験イベントを通じ、訪れた方々に復興への安心感や、期待感を抱いていただけるような情報発信に取り組みたい。

児童虐待防止 法改正の影響は

竹田英司議員

Q 親権者による体罰禁止や児童相談所の機能強化を柱とする児童虐待防止法、児童福祉法の改正案が可決され、来年4月に施行される見通しである。その要点と本市の虐待防止体制への影響を伺う。

児童虐待防止ポスター

A **こども未来部長**　今回の法改正の主な柱は3点あり、1点目の体罰の禁止は親権者が児童のしつけに際しての体罰や必要な範囲を超えての懲戒を禁止するもの。2点目の児童相談所の体制強化は、介入的対応を行う職員と保護者支援を行う職員の機能分化や職員の確保、育成の支援などの措置を構じるもの。3点目の関係機関との連携強化は、関係機関の職員などの守秘義務を明確化し、警察など関係機関との連携協力などが規定されたもの。

今回の法改正は、市町村の虐待防止体制の変更を求めるものではないと認識しているが、改正の趣旨を踏まえながら、今後も児童相談所など関係機関と連携し、児童虐待などの事案に対応していく。

委員会審査

各委員会の議案審査では、次のような質疑応答がありました。

総務委員会

■審査した議案

議案第38号　一般会計補正予算（第1号）
議案第40号　行政不服審査法施行条例の一部改正について
議案第41号　市税条例の一部改正について
議案第44号　火災予防条例の一部改正について

主な質疑

Q 委員　「丸亀市火災予防条例」の一部改正によって、何が変わるのか。

A 消防本部　今回の改正は、住宅用防火機器の設置免除規定に『住宅の部分に特定小規模施設用自動火災報知設備を設置した場合』を追加するものだが、現在でも消防長特例により同様の運用を行っているため、改正の前後で実質的な変更は生じない。

Q 委員　軽自動車税のグリーン化特例、環境性能割の改正は内容が複雑と感じるが、どのようにして市民へ周知するのか。

A 総務部　周知方法としては、改正内容を記載したチラシを納税通知書に同封したり、ホームページで情報発信をしている。今後も分かりやすい周知に努めたい。

グリーン化特例の改正とは･･･

消費税率引上げに配慮し特例が延長された後、2021年度及び2022年度に購入する自家用車について、自動車の燃費性能等に応じて、購入した翌年度に課税される軽自動車税（種別割）の税率を軽減する特例の適用対象が、電気自動車等に限定されます。

■グリーン化特例（軽課）による自家用の軽自動車に係る軽減割合

自動車の燃費性能等	2019年4月から2021年3月までの間に購入した場合	2021年4月から2023年3月までの間に購入した場合
電気自動車等	税率を概ね75%軽減	税率を概ね75%軽減
2020年度燃費基準+30%達成車(※)	税率を概ね50%軽減	軽減なし
2020年度燃費基準+10%達成車(※)	税率を概ね25%軽減	軽減なし

※電気自動車を除き、H30規制からNOx50%低減（★★★★）又はH17規制からNOx75%低減（★★★★）しているものに限る

教育民生委員会

■審査した議案

議案第38号　一般会計補正予算（第1号）
議案第39号　介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第42号　災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

主な質疑

Q 委員　来年度、介護保険料がさらに軽減されると聞いているが、今回の条例改正には反映されないのか。

A 健康福祉部　今回の条例改正は、現時点での国の法令改正を反映させたもの。来年度以降は国の法令改正に伴い、改正案を提案する。

Q 委員　災害援護資金の貸付限度額はいくらか。

A 健康福祉部　法令により限度額は350万円と定められている。

平成31年度　丸亀市の介護保険料

【基準額　61,800円（年額）】

段　階	対　象　者	年　額
第1段階	・生活保護受給の方 ・老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税の方 ・世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	18,850円
第2段階	世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超え120万円以下の方	31,210円
第3段階	世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	44,810円

※今年度改正となる段階のみを抜粋しています。

都市環境委員会

■審査した議案

議案第38号　一般会計補正予算（第1号）

議案第45号　委託協定の締結について（丸亀市城北ポンプ場長寿命化工事）

議案第46号　総合整備計画の策定について（香川県丸亀市本島町辺地）

議案第47号　総合整備計画の策定について（香川県丸亀市広島町辺地）

主な質疑

Q 委員　浸水想定区域図の作成は急を要する事業である。今年度中に作成という説明であったが、少しでも早く作成すべきではないか。

A 産業文化部　早期完成を目指し、対応したい。

Q 委員　離島情報通信環境整備事業について、来年4月のサービス開始に向けて、契約のタイムリミットはいつか。

A 生活環境部　今回の補正が承認となれば早急に業者の選定を行い、9月議会に向け、契約の締結を急ぎたい。

Q 委員　日本遺産認定に関するPRについて「市民球場の大型ビジョンで来場者に紹介する」「大阪城とのつながりを生かしタイアップする」「学校で子供たちに伝え、家庭につなげる」「島やフェリーの情報をQRコード化して配布する」など、これまでにないアプローチをしてはどうか。

A 生活環境部　日本遺産を島しょ部だけのものとせず、市全体の事柄として連携して取り組んでいきたい。

議会の動き　4・5・6月

4月
1日　議会運営委員会
　　各派会長会
9日　各派会長会
　　丸亀城復旧復興特別委員会
11日　広報広聴委員会
12日　総務委員会協議会
　　全員協議会
15日　各派会長会
　　議会運営委員会
17日　議会改革特別委員会
22日　各派会長会
24日　臨時会

5月
10日　各派会長会
21日　総務委員会協議会
　　都市環境委員会協議会
　　丸亀城復旧復興特別委員会
　　各派会長会
22日　広報広聴委員会
　　教育民生委員会協議会
24日　議会運営委員会

6月
3日　市庁舎等整備特別委員会
　　定例会初日（21日まで）
　　議会運営委員会
5日　丸亀城復旧復興委員会
6日　教育民生委員会
　　都市環境委員会
7日　総務委員会協議会
　　総務委員会
11日　全国市議会議長会第95回定期総会
18日　各派会長会
　　広報広聴委員会
21日　議会運営委員会
　　災害対応講演会
26日　丸亀城復旧復興特別委員会

他市議会の視察受け入れ

他市の議員、職員が本市の施策を視察しました。

5月8日　兵庫県三田市議会
「丸亀市創業支援事業等について」

5月9日　京都府舞鶴市議会
「自主防災について」

5月13日　千葉県我孫子市議会
「リノベーションまちづくり推進事業について」

5月14日　宮城県石巻市議会
「まる育サポートについて」

5月15日　山口県山口市議会
「自主防災組織の取り組みについて」

5月16日　三重県伊勢市議会
「障がい者スポーツの推進について」

5月23日　茨城県ひたちなか市議会
「川西地区防災のまちづくりについて」

6月24日　神奈川県海老名市議会
「空き家バンクについて」
「老朽危険空き家除去支援事業補助金について」

特別委員会を紹介します

本市の重要な課題について審査・調査を行うため、3つの特別委員会が設置されています。

市庁舎等整備特別委員会

市庁舎等の整備に関し、まちづくりの観点から一体的に取り組みます。

◎委員長　○副委員長
◎国方　功夫　○山本　直久
岡田　剛　大西　浩
川田　匡文　真鍋　順穂
多田　光廣　福部　正人

市庁舎等整備特別委員会

丸亀城復旧復興特別委員会

丸亀城の復旧復興に関する提言や情報発信に、市民の視点から取り組みます。

◎委員長　○副委員長
◎加藤　正員　○東　由美
武田　孝三　神田　泰孝
松永　恭二　横田　隼人
大前　誠治　水本　徹雄

丸亀城復旧復興特別委員会

市民会館整備特別委員会

新市民会館の整備に関し、市のさらなる文化振興を目指して取り組みます。

◎委員長　○副委員長
◎小橋　清信　○香川　勝
竹田　英司　中谷真裕美
三宅　真弓　横川　重行
松浦　正武　片山　圭之

市民会館整備特別委員会

災害対応講演会を開催

西日本豪雨　その時総社市議会はこう動いた

6月21日、総社市議会より加藤保博議長を講師にお招きし、災害対応講演会を開催しました。

「西日本豪雨　その時総社市議会はこう動いた」と題し、災害対策本部とのやりとりや議会が自発的に動くことを決めた経緯など、未曾有の事態を前向きに乗り越えた経験を踏まえ、議員に必要な心構えなどを表情豊かにご教示くださいました。

「大規模災害被災地支援に関する条例」を制定するなど、被災前から災害に対する高い意識を持っていた総社市。しかしながら、被災当初は議員の誰もが「まさか総社が…」と口を揃えたそうです。

気がつけばマニュアルもなく、何をすればいいのか分からない。手当たり次第に土かきをして走りまわり、たどり着いたのは「これではいかん」という現実。職員やボランティアが休みなく活動する中、自分たちに何ができるのかを考え、自ら災害対策本部に赴いたという加藤議長。

その後は支援物資の積み下ろしや仕分けなど議会が担う働きを自主的に見つけ、本格的に動き始めたとのことでした。

いつ、どこで起こるかわからない自然災害。市議会においても全体の意識を高め、備えてまいります。

総社市議会　加藤保博議長

海でつながるせとうち備讃諸島

岡山県と香川県の間に展開する【備讃諸島】。

大小無数の島々が織りなす多島海景観。島には平地が少なく、山肌から海岸まで至るところで巨石がむき出しになっています。

瀬戸内備讃諸島の花崗岩と石切り技術は、古くから日本の建築文化を支えてきました。日本における近代洋風建築の象徴ともいえる日本銀行本店本館、三井本館、明治生命館。また古くは近世城郭の石垣を代表する大坂城の石垣など、日本のランドマークとなる建造物が、この備讃諸島の石と技術によって築かれています。

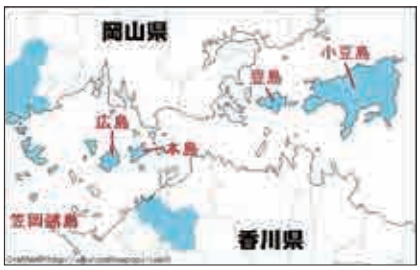
島々には、４００年にわたって石と共に生きてきた人たちの希有な産業文化が息づいており、今もなお、石にまつわる信仰や生活文化、芸能が継承されています。

日本遺産に認定！

令和元年5月20日、丸亀市の本島町・広島町、高松市小豆島町・豊島、岡山県笠岡市高島・白石島・北木島・大飛島・真鍋島が共同で申請していた「石の島」のストーリー「知ってる⁉悠久の時が流れる石の島～海を越え、日本の礎を築いたせとうち備讃諸島～」が日本遺産に認定されました。

日本遺産とは、日本各地に存在する有形・無形の文化財を、その地域の歴史的背景にからめた一つの「ストーリー」として文化庁が認定するものです。２０１５年に始まり、これまでに四国遍路や井波彫刻などが認定を受けています。

今回の認定のみならず、瀬戸内国際芸術祭などたくさんの見どころに溢れている瀬戸内の島々。この議会だよりでも、今後ぜひご紹介できればと考えています。



本島

研修報告

永年勤続９名に表彰状を伝達

6月11日、東京都で開かれた第95回全国市議会議長会定期総会、並びに、5月23日、高松市で開かれた第81回四国市議会議長会定期総会において、各表彰規定に基づき、本市議会より9名の議員が表彰されましたので、今期定例会で表彰状を伝達し、その功績をたたえました。

◆全国市議会議長会

《議員在職10年》　加藤　正員
　　片山　圭之
《議員在職15年》　横田　隼人
《議員在職20年》　横川　重行
　　松浦　正武
　　大前　誠治
　　国方　功夫

◆四国市議会議長会

《議員在職16年》　中谷真裕美
　　山本　直久
《議員在職20年》　横川　重行
　　松浦　正武
　　大前　誠治
　　国方　功夫

人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

▼公平委員会委員

高松市　勝丸　千晶

▼監査委員（議員選出）

土器町　水本　徹雄

香川県後期高齢者医療広域連合議会議員の変更

（旧）松浦　正武
　　水本　徹雄
　←
（新）横川　重行
　　中谷真裕美

広報広聴委員会委員の選任

議会だよりの編集、議会ホームページ、議会報告会など議会の広報業務を担当します。

◎委員長　○副委員長

◎福部　正人　○神田　泰孝
　武田　孝三　東　由美
　大西　浩　香川　勝
　三宅　真弓　水本　徹雄

広報広聴委員会

丸亀城石垣復旧を市民の皆さまと共に

丸亀城復旧復興特別委員会

6月13日応急対策工事完了

昨年7月・10月の丸亀城石垣崩落を受け、市議会に設置した「丸亀城復旧復興特別委員会」では、これまで市に対し早急な復旧工事に向けての意見や要望を行ってきました。

市ではこれまで、さらなる崩落を防ぐための応急対策工事を行っておりましたが、梅雨に入る前の6月13日、工事を完了したとの報告がありました。

今後、崩落の原因究明、本格復旧工事へと取りかかります。復旧には、約6000個の石の積み直しが必要で、2023年度末の完成を目標にしています。

議会は、市民の皆さまと共に復旧復興事業を進めていきたいと思っております。ぜひ、ご意見などをお寄せください。

7月豪雨・10月台風による崩落

斜面安定・表面排水処理

石垣撤去

特別委員会活動報告

石垣復旧事業報告会

7月7日、市主催「第1回丸亀城石垣復旧事業報告会」に参加しました。

第1回丸亀城石垣復旧事業報告会

現 地 視 察

4月9日、市対策本部各分科会から取り組み状況の報告を受けた後、石垣崩落現場の現状を確認するため、視察を行いました。

崩落現場の現状を確認

石垣亀裂箇所（ゲージ設置）

「ニッカリ青江公開プレミアムウィーク」（6月1日～9日）には全国から「刀剣女子」ら約7,300人が訪れました。「ニッカリ青江があるから丸亀が好き」「恋人に逢いにきました」という声。丸亀城の新規ファン層獲得にもつながっています。丸亀城石垣復旧に向けて資料館で開催されたこのイベント。たくさんの募金が集まりました。ありがとうございました。

こちら 議会だより 編集室

vol.5・完

「シティズンシップ」の苗を植えたい!

編集委員：編集長、市内のいくつかの小学校では、田植えの体験をやっているんですね。

編 集 長：うん。ご近所の方々の力を借りて、普段子どもたちが入ったことのない田んぼの中へ「きゃ～」とか言いながらおそるおそる入り、きれいに苗を植えている。

編集委員：秋の収穫が楽しみですよね。

編 集 長：この「議会だより」が届くころには、子どもたちの植えた苗も青々と成長しているだろう。しかし収穫までには農家の人たちがたくさんの手間暇をかけている。子どもたちが育つのとそれは同じかも知れない。

地域の皆さんと　田植え体験

編集委員：なるほど。愛情を注ぐことが大事ですね。

編 集 長：そうだね。ところで、春の県議選での18、19歳の投票率というのがここにある。

編集委員：いきなり、何ですか?

編 集 長：まず見てよ。県全体では19.49%。丸亀市では15.26%だったとある。

編集委員：深刻ですね。田植えで歓声を上げていた子どもたちもほどなく有権者になるのに、みんな投票に行かないのかなあ。

編 集 長：投票率に一喜一憂するというより、政治に参加する市民がこんなに少なくていいのか、と心配になる。

編集委員：「誰を選んでいいのかわからない」とか「自分ひとりが行かなくても」というムードもあるようです。

編 集 長：そうだ。情報があふれている世の中だけど関心がなければ調べようともしない。教育が「政治的中立」を確保しつつ、子どもたちに政治参加を身につけてもらうことが必要になってきたのではないかな?

編集委員：「シティズンシップ教育」ですね。

編 集 長：もちろん家庭で、政治が話し合われる環境も大事だ。その上で、「一票に責任を持つ」ことを学校で教えることが各地で始まっている。民主主義というものも、その「手間暇」をかけないと育たない。

編集委員：この「議会だより」も、それに一役買えたらいいですね。

編 集 長：そのとおり。シティズンシップ教育でいちばん重要な役目を持つのは「議会」そのものだと言える。議会報告会や意見交換会の開催などで「飛び出す」議会を目指していきたい。

編集委員：そうか。田んぼの苗も子どもたちも、私たち議会も成長しなければいけないんですね!

編 集 長：いいこと言うね。この「編集室」は今回で完結。次号のこのページには、議会の各委員会がその「飛び出す」姿をお目にかける予定だ。

編集委員：お楽しみに!

編 集 長：私たち議会も「大いなる収穫」を目指そう!!

編集後記

市議会の広報広聴委員会に所属して間もなく、丸亀高校での同校生徒会などの代表メンバーとの意見交換会に参加しました。

タイトルは「参政権あるのに議会のことなんも知らねえじゃん」。生徒の意見の中には、「家族の団らんで、政治の話をしたときに親の考えは参考にしたりする」「政策をわかりやすく知らせてほしい。学校に議会の広報等貼りだすことはできないのか」。「ツイッターはよく見るので有効でないか」など、10代の投票率を高めるには、保護者や市長および議員の関わりが大きなカギを握ると感じました。

今回体験できたアウトリーチ（出張サービス）型の意見交換会を、今後の議会報告会に活かしていければと思います。

広報広聴委員長
福部正人